



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社カネカ

上場取引所 東

コード番号 4118

URL <https://www.kaneka.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 一彦

問合せ先責任者(役職名) IR (Investors Relations) 部長 (氏名) 井ノ口 敦也 (TEL) 03-5574-8090

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	598,278	△0.8	22,196	△23.8	19,255	△26.1	18,440	4.0
2025年3月期第3四半期	603,048	6.8	29,135	34.8	26,068	34.7	17,736	32.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 30,649百万円(△32.4%) 2025年3月期第3四半期 23,144百万円(△18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	296.72	295.69	
2025年3月期第3四半期	280.67	279.81	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	953,481		504,779		50.6	
2025年3月期	920,143		492,419		51.2	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 482,292百万円 2025年3月期 471,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 130.00
2026年3月期	—	80.00	—		
2026年3月期(予想)				80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	800,000	△0.9	34,000	△15.1	28,300	△13.9	31,500	24.5	511.80	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	66,000,000株	2025年3月期	66,000,000株
2026年3月期3Q	5,115,218株	2025年3月期	3,066,508株
2026年3月期3Q	62,147,233株	2025年3月期3Q	63,193,300株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2026年2月10日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(セグメント情報等の注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

- **世界経済の状況 一経済のブロック化・地政学リスクが常態化し、視界不良が続く－**
 米国関税政策への対応や米中摩擦の激化・対ロシア制裁の長期化などが、世界経済を一層混乱させています。また、為替・金利など金融市場の流動化がリスクとなっています。
 米国は利下げが進む一方、個人消費が減速。欧州は景気の低調が継続しています。
 中国は補助金政策が内需を押上げるも、輸出の低迷が継続。国内は米国向けを中心に輸出が低迷し、景気を下押ししています。
- **当社グループの業績 一減収、純利益は増益－**
 このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間（2025年4月～12月）の業績は、売上高598,278百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益22,196百万円（前年同期比23.8%減）、経常利益19,255百万円（前年同期比26.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益18,440百万円（前年同期比4.0%増）となりました。
 売上高は前年同期並み、営業利益・経常利益は減益となりましたが、純利益は増益となりました。

2026年3月期 第3四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	増減
売上高	603,048	598,278	△4,769 (△0.8%)
営業利益	29,135	22,196	△6,939 (△23.8%)
経常利益	26,068	19,255	△6,813 (△26.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,736	18,440	703 (4.0%)

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	売上高				
	2026年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計	前年同期比
Material SU	82,374	80,119	79,033	241,527	△13,980 (△5.5%)
Quality of Life SU	48,466	48,550	48,354	145,371	1,085 (0.8%)
Health Care SU	18,273	19,073	19,978	57,324	1,887 (3.4%)
Nutrition SU	49,310	50,785	53,195	153,292	6,204 (4.2%)
その他	257	216	287	761	32 (4.5%)
計	198,682	198,746	200,849	598,278	△4,769 (△0.8%)

セグメント別営業利益		営業利益				(単位：百万円)
		2026年3月期				
		1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計	前年同期比
Material SU	6,265	6,336	5,172	17,775	△4,955 (△21.8%)	
Quality of Life SU	5,208	4,231	4,815	14,256	△1,444 (△9.2%)	
Health Care SU	3,131	2,875	3,561	9,568	848 (9.7%)	
Nutrition SU	2,680	3,273	3,527	9,480	△663 (△6.5%)	
その他	128	69	148	346	13 (4.0%)	
調整額	△9,254	△9,983	△9,993	△29,231	△737 (-)	
計	8,161	6,802	7,232	22,196	△6,939 (△23.8%)	

➤ 全体像の俯瞰

Health Care SUはMedicalの強いモメンタムが継続し、全社の業績を牽引しています。

QOL SUは2 Qを底に回復基調ですが、E&Iの回復が遅れており前年同期比で減益となりました。

Nutrition SUはSupplementが堅調。Foodsは高付加価値品へのシフトが進んでいるものの、1 Qでの出遅れが影響し全体としては減益となりました。

Vinylsの低迷とMOD・MSの停滞が長引き、Material SUは減益となりました。

Material SUを除く各SUの3 Qは2 Qより回復しており、全体としてのモメンタムは強まっているものの、3 Q累計ではMaterial SUの減益が全社業績下振れの主要因となっています。

このような状況下、E&I, PV, Medical, Supplementなどの先端事業群では差別化技術を活かした拡販が進んでおり、営業利益に占める割合は50%超となりました。事業ポートフォリオ変革が着実に進展しています。

各セグメントの状況は次のとおりです。

① Material Solutions Unit

当ユニットは、アジア市況の低迷、米国の住宅・建築市場の需要低調が継続し、全体では減収・減益となりました。

- Vinylsは、塩ビのアジア市況の低迷継続および国内需要の低調により、前年を下回る収益となりました。
- MODは、米国の住宅・建築市場の需要調整が続き減益となりました。製品のポートフォリオ変革を牽引する非塩ビ用途・MXなどの高付加価値製品の拡販が進んでいます。
- MSは、他材料からの置換が進み、グローバル需要が回復しています。
- Green Planet®は、大型案件での顧客評価がさらに進展しています。4 Q以降も新規採用および販売拡大を見込んでいます。

② Quality of Life Solutions Unit

当ユニットは、Foam・PV・Fibersが堅調に推移しましたが、E&Iの回復遅れにより、全体では増収・減益となりました。

- Foamは、価格改定・コストダウンなどスプレッドの改善により増益となりました。引き続き収益性の向上に努めます。
- E&Iは、ポリイミドフィルム・光学用アクリル樹脂の販売は堅調でしたが、原料高騰や為替影響により減益となりました。高付加価値グレード（高周波ポリイミド・アクリル樹脂改良品など）の拡販を確実に進めます。
- PVは、国内住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調に推移しました。次世代太陽電池（ペロブスカイト）はタンデム型の上市に向け、官民共同で技術開発を進めます。
- Fiberは、頭髪製品の販売が好調に推移しましたが、難燃ファブリックは一部原料の高騰によりスプレッドが低迷しました。グローバル需要は引き続き伸長しており着実に収益拡大を実現します。

③ Health Care Solutions Unit

Medicalの躍進が続き当ユニットは増収・増益となりました。4Qもさらなる収益拡大を見込んでいます。

- Medicalは、血液浄化器およびカテールでの順調な拡販が進み、当社最大の収益事業として全社を牽引しています。北海道新プラント（苫東工場、血液浄化器）は計画通り戦力化しており、続くカテール新プラントの建設も順調です。ポートフォリオ変革の柱として、さらなる成長を目指します。
- Pharmaは、バイオ医薬品での販売案件の4Qへのずれ込みもあり、収益は低調に留まりました。低分子・バイオ医薬品ともに新規案件の獲得に向けた取り組みは引き続き進んでいます。

④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、Supplementが堅調に推移し、Foodsの収益性向上が進みましたが、全体では増収・減益となりました。

- Supplementは、還元型Q10がグローバル市場で拡販が進み、増益となりました。4Qも順調に拡販し、収益は着実に伸長する見込みです。
- Foods & Agrisは、価格改定および高付加価値品へのシフトがさらに進み、スプレッドが改善しました。引き続き「B2C」事業での新製品の拡販を中心に、収益性の向上を強化します。

(2) 当四半期の財政状態の概況

➤ 資産、負債及び純資産の状況

3Q末の総資産は、棚卸資産の増加に加え、円安による海外グループ会社の資産額増加などにより、前期末に対して33,338百万円増加の953,481百万円となりました。

負債については、仕入債務、借入金の増加などにより20,978百万円増加の448,702百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加や円安による為替換算調整勘定の増加などにより12,359百万円増加の504,779百万円となり、自己資本比率は50.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国・欧州をはじめ、建築・住宅関係の回復が鈍い状態が続くなど景気回復の材料が乏しく、先行きは依然不透明な状況です。

このような状況下、当社は重点領域であるライフサイエンスを強化し、ポートフォリオ変革を急いでいます。4Q以降はHealth Careを中心に、全社の収益回復のモメンタムが戻り、業績が大きく回復する見通しです。

Health CareにおけるMedicalの勢いがさらに増しています。4Q以降も新製品拡販と販売地域の拡大（アジア・米国）、M&Aによる事業領域の拡大により収益拡大が加速する見込みです。Pharmaは3Qまで需要停滞局面が続きましたが、4Qには低分子・バイオ医薬品とともにCDMO市場での販売が増加し、本格的に回復する見通しです。

QOL SUでは、Fiberは頭髪製品の高水準の販売が継続し、E&Iはポリイミドフィルム・光学用アクリル樹脂の需要回復が見込まれます。高付加価値グレードの拡販を進め、収益拡大を実現します。

Nutrition SUでは、Foodsは想定以上の内需低迷が見込まれるもの、高付加価値品へのシフトと「B2C」製品の販売が拡大しています。Supplementは堅調な販売が続く見込みです。食品としてのサプリ展開を目指すHealthy Foods Strategic Unitの活動が、ポートフォリオ変革に寄与しています。

一方、Material SUでは、Vinylsは海外市況の低迷が長引き、MOD・MSは欧米の住宅・建築市場の回復はなお緩やかと想定されます。アジアを含めたグローバル拠点での着実な拡販を進めます。

総括すると、4Qは全体として業績回復のモメンタムが強まり、力強く成長軌道に復する見通しです。以上を踏まえ、2025年11月12日公表の通期の連結業績予想については、下表のとおり修正いたします。

2026年3月期 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 800,000	百万円 37,000	百万円 31,400	百万円 33,000	円銭 534.03
今回修正予想 (B)	800,000	34,000	28,300	31,500	511.80
増減額 (B-A)	-	△ 3,000	△ 3,100	△ 1,500	
増減率 (%)	-	△8.1	△9.9	△4.5	
(参考)前期連結実績 (2025年3月期)	807,200	40,050	32,863	25,309	400.91

セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前回予想	今回修正予想	増減	前回予想	今回修正予想	増減
Material SU	323,000	318,000	△ 5,000 (△1.5%)	26,800	24,500	△ 2,300 (△8.6%)
Quality of Life SU	195,000	194,000	△ 1,000 (△0.5%)	18,300	18,300	-
Health Care SU	84,000	87,000	3,000 (3.6%)	17,000	16,500	△ 500 (△2.9%)
Nutrition SU	197,000	200,000	3,000 (1.5%)	14,700	13,700	△ 1,000 (△6.8%)
その他	1,000	1,000	-	400	500	100 (25.0%)
調整額	-	-	-	△ 40,200	△ 39,500	700 (-)
計	800,000	800,000	-	37,000	34,000	△ 3,000 (△8.1%)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,639	47,042
受取手形、売掛金及び契約資産	176,793	180,787
商品及び製品	104,201	118,465
仕掛品	16,814	17,969
原材料及び貯蔵品	74,481	75,814
その他	28,420	28,494
貸倒引当金	△1,824	△1,974
流動資産合計	444,524	466,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	107,322	109,164
機械装置及び運搬具（純額）	127,404	127,910
その他（純額）	105,708	116,218
有形固定資産合計	340,435	353,293
無形固定資産		
のれん	2,671	2,245
その他	30,488	30,150
無形固定資産合計	33,159	32,395
投資その他の資産		
投資有価証券	61,184	60,657
退職給付に係る資産	21,205	21,697
その他	19,978	19,173
貸倒引当金	△343	△336
投資その他の資産合計	102,023	101,191
固定資産合計	475,618	486,881
資産合計	920,143	953,481

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,144	100,849
短期借入金	132,511	142,978
未払法人税等	7,013	4,320
引当金	2,235	612
その他	61,029	70,218
流動負債合計	294,933	318,978
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	57,972	53,699
引当金	905	725
退職給付に係る負債	22,032	22,190
その他	36,880	38,108
固定負債合計	132,790	129,723
負債合計	427,724	448,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	29,871	30,098
利益剰余金	349,925	359,044
自己株式	△11,725	△20,472
株主資本合計	401,118	401,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,463	28,608
為替換算調整勘定	24,847	35,004
退職給付に係る調整累計額	17,848	16,962
その他の包括利益累計額合計	70,159	80,576
新株予約権	658	770
非支配株主持分	20,482	21,715
純資産合計	492,419	504,779
負債純資産合計	920,143	953,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	603,048	598,278
売上原価	435,931	433,707
売上総利益	167,117	164,571
販売費及び一般管理費	137,981	142,375
営業利益	29,135	22,196
営業外収益		
受取配当金	1,834	1,838
為替差益	966	699
持分法による投資利益	117	67
その他	996	1,013
営業外収益合計	3,914	3,618
営業外費用		
支払利息	3,009	3,023
固定資産除却損	2,152	1,758
その他	1,819	1,777
営業外費用合計	6,981	6,559
経常利益	26,068	19,255
特別利益		
投資有価証券売却益	2,365	10,198
特別利益合計	2,365	10,198
特別損失		
災害による損失	614	-
訴訟関連費用	-	786
事業整理損	-	529
特別損失合計	614	1,316
税金等調整前四半期純利益	27,819	28,137
法人税、住民税及び事業税	7,141	7,598
法人税等調整額	1,752	979
法人税等合計	8,893	8,578
四半期純利益	18,925	19,559
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,188	1,118
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,736	18,440

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	18,925	19,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△481	1,217
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	5,137	10,780
退職給付に係る調整額	△435	△912
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	3
その他の包括利益合計	4,218	11,090
四半期包括利益	23,144	30,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,016	28,856
非支配株主に係る四半期包括利益	1,127	1,792

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	255,508	144,285	55,437	147,087	602,319	729	603,048	—	603,048
セグメント間の 内部売上高又は振替高	163	53	193	38	449	942	1,392	△1,392	—
計	255,671	144,339	55,631	147,126	602,768	1,672	604,441	△1,392	603,048
セグメント利益	22,731	15,700	8,719	10,144	57,296	332	57,629	△28,494	29,135

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	57,296
「その他」の区分の利益	332
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△28,542
その他の調整額	48
四半期連結損益計算書の営業利益	29,135

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	241, 527	145, 371	57, 324	153, 292	597, 516	761	598, 278	—	598, 278
セグメント間の 内部売上高又は振替高	187	55	22	62	328	1, 068	1, 396	△1, 396	—
計	241, 715	145, 427	57, 347	153, 354	597, 845	1, 830	599, 675	△1, 396	598, 278
セグメント利益	17, 775	14, 256	9, 568	9, 480	51, 081	346	51, 427	△29, 231	22, 196

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	51, 081
「その他」の区分の利益	346
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△29, 306
その他の調整額	75
四半期連結損益計算書の営業利益	22, 196

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	32,542百万円	35,164百万円
のれんの償却額	544百万円	401百万円